

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型デイサービスからふる		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭的な落ち着いた雰囲気の中で過ごせるので、人混みや集団が苦手な方や自分のペースで過ごしたい方に、落ち着いて過ごせただけです。 少人数なので、それぞれのペースに合わせた個別支援や小グループでの活動が提供できます。	一人一人のパーソナルスペースを大切に、落ち着いて過ごせる環境を提供している。	役割ややりがいを感じられ、日々の充実感を得られるよう多様なサービスの提供に努める。
2	通所介護利用者など(高齢者)と一緒に過ごすことで、親戚の家に来たような温かい雰囲気の中過ごすことができ、様々な世代と関わる事で、役割ややりがいにつながり、お互いに思いやりを大切にしている情操教育となる。	聞こえにくい方などコミュニケーションギャップがある時は、職員が間に入りコミュニケーションが円滑になるように支援しています。	様々な世代や特性の方のかかわりの中で、それぞれの役割ややりがいを見つけられるようにする。
3	看護職員・介護福祉士・保育士など専門職員を配置し、様々なニーズに対応できる。 強度行動障害研修や行動援護などの研修をうけており、難しいケースでも対応できる。	職員会議や支援会議にて、利用者に向けた支援の検討や、職員間の情報を共有し提供している。	専門的な外部研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援や小グループでの活動が主で、集団で一つの活動を行うことは難しい。	それぞれのペースや趣向があり、集団での活動に取り組むことは難しく、個別支援や小グループでの活動が主である。	今後、多様な活動を提供し、役割ややりがい、関係性を養えるように努める。
2	職員のミーティングの時間がとりにくい。	職員の勤務時間が、ほぼ利用者支援があるため、職員間のミーティングがとりにくい。	その都度、職員間で確認・共有を行ったり、情報共有ツールなど使い、職員間で情報の共有に努める。
3			